

小杉放庵 （号） 畫家、歌人。明治十四年十一月二十日栃木縣生乳、
 昭和二十九年四月十六日歿（八六—一九六）。本名國太郎。別號未醒、
 國府濱國太郎。白馬會洋畫研究所、小山正太郎主宰不同舎の學ぶ。明
 治二十五年太平洋畫會創立會員、翌年新華書報社に入りて露戰等から從
 軍、四十一年雜誌『方寸』同人、大正二年渡歐、十一年春陽會創立會
 員、昭和に入りて水野畫堂制作、十年帝國美術院會員。

著書『朗讀畫詩』（小杉未醒名、合著・鹿嶋櫻枝編、明治四十四年九

月十五日東京（國民書院）、『（附）現代諸家スケッチデッサン・第一集』（同、

合著、大正六年八月八日阿蘭陀書房編刊）、『大雅堂』（同、大正十

五年一月二日、普及版・昭和二年四月二日アルス・アルス美術叢書）、

田山花袋著『那馬溪紀行（附別府）』（同、畫、昭和二年六月十五日廣

業之白本社）、田中純著『美濃と飛騨の旅』（畫、昭

和六年十一月一日日本風景協會）、『小杉放庵畫集』（昭和七年六月

二十日タトリ社）、『日本の十和田湖と青森の山水』（昭和八年四

月五日日本風景協會）、『唐詩及唐詩人』（昭和十四年九月二十日書

物展望社。再刊一全二冊、上卷・昭和二十一年一月二十日、下卷・十

一月二十日書報社）、『春陽會隨筆五人』（合著、昭和十五年六月）

十五日第一書房）、『大陸戦史一畫と文』（合著・陸軍省報道部編、

昭和十六年二月十日陸軍書報社）、散文集『山谷』（昭和十七年二月

二十日中央公論社）、『池大雅』（昭和十七年十一月

月十五日二書房『現代叢書』（）、『わが若き日』

（合著・東本昭編、昭和十八年八月二十日東京講演

會出版部）、隨筆『歸去來』（昭和二十二年四月二



十の法心算本(等)